

六年の組のみなさまから 真心のこも  
たお手紙をどっさり頂いて よろこびま  
した。私たち三人の父子は 幸福に暮  
らしてありますから よろこんで下さい。  
人間どうしは 相愛し合ってゆきさすれ  
は 幸福になれます。 たとい どんなん 負し  
しても 愛し 愛されてあることを はっきり  
知っておれる 状態にあると 全く 幸福です。  
人間といしは 相憎み 相争ってゆきまうと、  
いくら 自分の 要求が通つても 心が落ち着  
かず いっまでも 不安です。  
世界がいま 二つに分れてると よく云われます。  
公平によつて 公平な分配をしようとするか、  
不愛によつて 公平な分配をしようとするか、

相手をみたら すぐ 目を怒らし 議論をするか、  
相手をみたら すぐ 目を怒らし 議論をするか、  
きつと愛の組でしようね。 だせたら 二つで  
やさしい手紙を 私たち 南の港の者に書いて  
下さつたのですもの。  
なんいら 互に相愛すべし。 じは 神のさめれた  
規則であります。 どうか、あなたの方で、あた  
なたは みね 愛の天使として 優しい人、かたし  
んにいる人、困っている人、病交している人、旅人  
さみしがつている子に、 小さい愛の言葉かけをするよう  
好んで下さい。  
一九四九年二月二十日

海鳥の心愛の組のみなさま  
昭和二十九年三月二十日 小井 隆